



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

有功やまぐち

第5号

2017年6月発行

会長挨拶

山口県日赤紺綬有功会 会長 平岡 英雄
(株式会社西京銀行取締役頭取)



会員の皆様には、平素から当会の運営に格別のご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、当会は、赤十字の支援団体として様々な事業を通じて、赤十字活動の着実な推進に貢献できているものと考えています。

平成28年度は災害が各地で発生する年となりました。特に熊本では震度7の地震が2度発生。直後から車中泊やテント泊を余儀なくされ、そして今も仮設住宅に住まれ元の生活を取り戻せないでられる被災者の心情には計り知れないものがあります。今後に予想される南海トラフ地震などにも備え、日赤の災害救護を中心とする事業活動は益々期待が高まっています。

当会としましては、今後も日赤山口県支部が力強い活動が続けることができるよう、引き続き紺綬有功会会員の増強と結束を高め、その活動を支援していく所存でございます。

会員の皆様方におかれましては、引き続き変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

募集します！

紺綬有功会が助成する事業に出席していただける方を募集します！

皆様の会費がどのように使われているか、支部職員と一緒に見届けませんか？
会が助成する下記の年間行事に出席して下さる方を募集します。
詳細については、事務局までお問合せください。

①赤十字救急法競技大会

日にち 平成29年9月9日(土) 12時～17時頃 予定

場 所 山口南総合センター (山口市名田島1218-1) 予定

内 容 支部が主催する競技大会で、青少年赤十字加盟校の中・高生および山口大学学生らを来賓席から応援、表彰式で協賛品を贈呈いただく。

人 数 1～2名程度

②NHK海外たすけあいキャンペーン

日にち 平成29年12月1日(金) 15分程度 予定

場 所 NHK山口支局 1階ロビー

内 容 キャンペーン初日に、会からの寄付金を受付に渡していただく。

人 数 1名程度

③イトスギ植樹式

日にち 随時 <今年は小野田赤十字病院と豊浦高等学校に植樹しました。>

内 容 植樹式の参列

④その他

日にち 随時

内 容 県内青少年赤十字加盟校へ記念品贈呈等(予定)



平成28年度の主な事業

山口県日赤紺綬有功会総会・講演会を開催

7月27日、KKR山口あさくら（山口市）にて、平成28年度山口県日赤紺綬有功会総会を開催いたしました。昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算について、審議・承認されました。

午後からは萩市元教育長 陽信孝（みなみのぶたか）氏による特別講演会「これからをどう生きる？～朝顔やつるべとられてもらひ水～」には会員・一般の方、総勢80名を超える来場がありました。陽氏は奥様との老老介護のご経験から、日赤の使命である「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことがいかに重要であるか、人生の困難をどう乗り越えるか、などについてお話しされました。



日赤紺綬・有功会会長協議会総会に出席

10月6日～7日、京都市の「ANAクラウンプラザ京都」にて、平成28年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が開催され、平岡会長、支部事務職員が出席しました。

総会では、平成27年度の事業・決算報告、平成28年度の収支中間報告について承認され、福知山公立大学学長の井口和起氏による「京都—この文化資源をどう守り伝えていくか—」の講演も行われました。



山口県日赤紺綬有功会設立50周年記念事業「イトスギ植樹」

平成29年3月29日、小野田赤十字病院に4本目のイトスギ植樹を行いました。植樹式では小野田赤十字病院の水田英司（前）院長と病院職員により苗木が植えられ、苗木の成長とともに赤十字精神に基づく医療提供を行う小野田赤十字病院の益々の発展への思いが込められました。



日赤山口県支部への支援事業

平成28年度事業計画に基づき、日赤山口県支部への支援として「第4回赤十字救急法競技大会」の共催、「赤十字“いのち・健康・尊厳”フォトコンテスト」の開催、「海外たすけあい」にも寄付をし、協力しました。

第4回赤十字救急法競技大会共催

9月11日(日)に周南市新南陽ふれあいセンターで開催された大会を共催。出場者やボランティアスタッフ120名に、防災知識の詰まったパンフレット、日赤クロくまメモ帳、避難所で役立つ携帯用コップのセットを配付し、会のPRをしました。



第34回NHK海外たすけあいに寄付



本年も会より20,000円の寄付をしました。キャンペーン初日にNHK山口支局ホールにて行われたセレモニーでは、青少年赤十字加盟園の山口市藤村学園旭幼稚園の園児さん4名が、声をそろえて「世界の困っている人たちや社会の福祉に役立ててください。」とメッセージを伝えました。



支部便り

平成28年度に山口県支部が実施した主な事業を紹介します。これらの事業は、県民の皆様から寄せられた活動資金によって行っています。

平成28年熊本地震災害救護活動報告



平成28年4月16日午前1時25分の本震発生後、被災地の要請を受け、同日午前7時10分に救護班第1班を派遣。以後5月20日まで継続的に6個班48名（医師8名・看護師18名・薬剤師2名・事務員20名）を山口・小野田赤十字病院から派遣し、特に被害が大きかった益城町の総合体育館において救護活動に当たりました。また毛布の要請には、1,000枚を搬送し対応しました。

中国・四国各県支部合同災害救護訓練 ～いのちを守る迅速・的確な救護活動のために～



11月12日～13日「平成28年度日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練」が、昨年度の高知県に続き、今年度は日赤徳島県支部で実施されました。今回の訓練は、甚大な被害が想定される南海トラフ地震に備えて策定された中国・四国ブロックの東南海・南海地震災害救護運用マニュアルの検証を目的とし、山口県支部からは、小野田赤十字病院の救護班（医師、看護師、こころのケア要員、主事）、防災ボランティア2名と支部職員の計14名が参加しました。

もっと知って！ やまぐち赤十字フェスタを初開催



10月23日、山口・小野田赤十字病院、血液センターと初めての合同イベントを開催。約1,000人の方々にご来場いただき、会場は終日大変な活気にあふれ賑わいました。メイン会場では、青少年赤十字加盟園・校の児童・生徒たちがステージを盛り上げ、病院・血液センターコーナーでは、子ども向けのお仕事体験や、献血模擬体験が大人気。支部のコーナーでは、赤十字奉仕団の協力で、非常食300食の配布や熊本地震関連のパネル、避難所で配布される毛布などの救援物資の展示も行いました。

新コーナー

会員友好の輪



会員の皆さまをリレー方式でご紹介します！

有功会副会長 防府市 山本喜琅さん（78歳）
趣味 詩吟、ボーリング
スポーツジムに通うことを楽しんでます！

航空自衛隊を34年8ヶ月勤め、退職前に献血有功章を2度受章し、そのことがきっかけで紺綬有功会の会員となりました。有功会の研修旅行で九州や広島を訪問したことがよい思い出です。会員数が減ってきていますが、今後も自分にできることはどんどん協力していきたいです！

赤十字運動にご協力をお願いします

自治会・町内会を通じたご協力のほか、お近くの郵便局窓口からは手数料無料でお振り込みいただけます。

（口座番号）01590-3-4076

（加入者名）日本赤十字社山口県支部

口座振替やクレジットカード決済による活動資金納入の方法もあります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

発行元

山口県日赤紺綬有功会事務局
山口市野田172-5 日本赤十字社山口県支部内
TEL:083-922-0102/FAX:083-932-3615